



地域医療連携室だより

Vol. 49

平成 25 年 7 月 1 日発行
発行元 大津市民病院地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目 9 番 9 号
TEL 077-526-8192
URL <http://www.municipal-hospital.otsu.shiga.jp/>

「当院におけるがん治療のとりくみ」



事務局長

北村 善隆

昭和56年（1981年）以来連続してわが国の死因の第一位にあり、滋賀県の調査でも県民が充実を望む医療分野のトップであるがんについて当院のとりくみをお伝えします。

がんは、全ての死因の約3割を占め、生涯のうちがんにかかる可能性は男性では2人に1人、女性では3人に1人であるといわれています。このため、国民の健康と命をおびやかす重大な問題であるとして、国ではがん対策基本法を制定しそれに基づくがん対策推進の基本計画を定めています。この計画では、重点的な取組事項として、放射線療法、化学療法、手術療法を充実させ、これらを組み合わせた集学的治療（複数の療法を組み合わせる治療）の質を向上させることをあげています。このうち放射線療法は、欧米では普及した治療法ですが、わが国では欧米に比べてこの比率がまだ低い状況にあります。

こうしたなか、市民病院では、地域の中核病院としてがんにより一層対応できる体制を整えることを目指していますが、このたび新たな取組として、これまでの手術療法や化学療法に加えてリニアックによる新たな放射線療法を導入し、がんの種類や進行度などによってこれら複数の療法を組み合わせ、最適な治療に資することとしました。すでに機種を選定を終え、今年度は治療室の建築工事を行い、その後機器の据付けを行って、来年の秋ごろには治療が開始できるようなスケジュールで準備を進めています。

その他のがん対策として、緩和ケア科では、がん患者さんの身体的・精神的苦痛をとるだけでなく癒しや喜びを感じていただくためのさまざまな取組みも行っています。また、この4月、患者総合支援センターの中に患者相談支援室（本館一階）を開設しましたが、ここでは、さまざまな病気に関する不安や悩みのご相談にスタッフが対応させていただいており、特にがんの相談については、がんの療養生活や緩和ケアのこと、抗がん剤治療のこと、栄養や食事のこと、こころの相談等に対して、がん看護専門看護師をはじめ臨床心理士、医療ソーシャルワーカー、薬剤師、リンパ浮腫療法士、管理栄養士などの専門スタッフが相談にあたっています。

市民病院では、これからも、必要な医療技術者の育成・確保や医療機器の整備を通じてより一層効果的ながん治療、がん対策に努め、地域の医療ニーズに応えてまいります。

NST勉強会のご案内

7月25日（木）17時30分～19時00分
大津市民病院9階A・B会議室
「慢性閉塞性肺疾患（COPD）患者の栄養療法」
呼吸器内科診療部長 平沼 修
※電卓・筆記用具をお持ちください。

お知らせ

7月1日（月）午後より、外科において「ヘルニア外来」を開設いたします。
毎週月曜日午後（14時00分から）に診察枠を設けます。
予約可能ですので、患者様のご紹介をお願いします。



健康講座

今年も6月21日(金)より大津市民病院大学・健康講座が開講しました。

第1回目は「介護保険てなァに？」と題し、自分自身や、大切な家族に介護が必要となったとき、まず何をしたらよいかを知っていただくため、地域医療連携室相談員が、「介護保険とは」「介護サービス利用の手続き」「介護保険サービス」について詳しくお話しさせていただきました。「介護保険について、全知識理解に乏しいので勉強したいとおもっていた。」「介護保険のことが良くわかった。」とのお声もいただき、市民の方の関心の高さがうかがえました。

もしも介護が必要になったら

ご自身や大切な家族が突然介護を必要とする状態になったら…みなさんは、どうしたらよいかご存知ですか？

「介護について相談したいけど、どこに相談したらいいの？」

「介護サービスを利用したいけど、どうしたらいいの？」

いざというとき困らないよう、まずは何をしたらよいか知っておきましょう！



次回は

7月12日(金)

14時00分～15時00分

大津市民病院9階会議室

「緩和ケアについて知っておこう」

がん看護専門看護師

杉江 礼子

総合内科症例検討会

5月30日(木)に、第12回総合内科症例検討会を開催しました。

便秘、腹部膨満感という典型的とはいええない症状で受診した尿管結石の症例と、右季肋部痛で受診し、クラミジア感染に伴う Fitz-Hugh-Curtis 症候群と診断した症例について、活発な議論が行われました。

今回は、院外医師、薬剤師、滋賀医科大学の学生さんを含めた33名の方にご参加いただきました。次回は、9/5(木)を予定しています。本検討会は、公開講座としておりますので、多数の方のご参加をお待ちしています。

第1回

「おうち在宅療養シートを使ってみよう」の会

6月16日(日)に、多職種協働による在宅チーム医療の推進に向けて、共通ツール(おうち在宅療養シート)を用いた連携を図るために開催されました。

午前は実例を用いてのグループ討論、午後は「こころの平安」をもとにした事例紹介、検討が行われました。



市民のためのがん講座



6月16日(日)に「市民のためのがん講座」(大津赤十字病院主催)が開催され、大津市民病院 院長 片岡 慶正が「知っておきたいすい臓がんの危険因子」と題して講演させていただきました。当日はたくさんの方々が参加され、熱心に耳を傾けておられました。

8月2日(木)の大津市民病院大学・健康講座では、「日常生活における膵がんのリスクファクター」と題してお話しさせていただきます。是非、ご参加ください。